

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン

追加型投信/国内/株式

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

(愛称:みやぎの絆)

### – 寄付のご報告とファンドの運用について –

日頃より『<七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)』をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

『みやぎの絆』は、「社」、「絆」、「地域社会」を大切にしたいという想いに寄り添い、人々の絆が紡ぐ未来を応援します。このため投資家の皆さまにファンドの運用益をお返しするとともに、收受した信託報酬の一部を宮城の発展のために活用をすることを目指しております。

おかげさまで当ファンドは2019年1月17日に第1回決算を迎え、販売会社である株式会社七十七銀行および七十七証券株式会社より、公益社団法人宮城県緑化推進委員会に41万2,963円の寄付が行われました。

当ファンドは、引き続きESG(環境/社会/企業統治)課題等への取り組みを通じて、企業価値向上が期待される銘柄に投資することで投資信託財産の成長を目指すとともに、地域の発展を目指した寄付を通じ、宮城の海岸防災林の再生活動を応援します。



社を大切に

社の都を中心とした  
宮城の自然を守りたい



絆を大切に

ふるさと宮城に  
希望と活力を与えたい



地域社会  
を大切に

安全で豊かな地域社会を  
持続させたい

お客様にご負担いただいた運用管理費用(信託報酬)の一部を震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の再生活動のために寄付します。

- 当ファンドの販売会社は、收受した運用管理費用(信託報酬)の一部(運用管理費用(信託報酬)率のうち年率0.1%程度)を寄付するものです。
- 寄付先は、公益社団法人宮城県緑化推進委員会とします。

#### 寄付金額

各販売会社が、毎年1月の計算期末を基準に、当該計算期間に收受した運用管理費用(信託報酬)の中から、各販売会社の取扱純資産総額に応じて、当該期間中の日々の純資産総額に年率0.1%を乗じて得た金額(ただし、将来的には状況によって寄付先および寄付金額が変更になることがあります)。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

1/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわずみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

### <運用状況と運用の方針について>

当ファンドは、企業との対話や綿密な調査を通じた徹底的なボトムアップリサーチをベースに、ESG(環境/社会/企業統治)課題等への取り組みを通じて、企業価値向上が期待される銘柄に投資します。

2018年10月下旬以降、世界景気の減速懸念、米中貿易摩擦の激化、対米ドルでの円高を背景として日本株は下落しました。こうした環境下、当ファンドは企業との対話や綿密な調査を通じ長期の投資に耐えうる銘柄選定を行うことで銘柄の入れ替えを抑える一方、株価の変動時にはポートフォリオ内で相対的に割高となった企業のウェイトを減らし、割安な企業のウェイトを増やすなどの調整に努めました。この結果、業種別配分のガイドラインは定めていないものの、化学、建設業、機械の構成比率が高めになっています。

2019年に入り、米中貿易摩擦の緩和期待で株価の回復がみられたものの、世界景気の減速懸念もあり市場は依然不安定な状況が続いています。一方、日本の株式市場の中には割安な水準にある優良株が散見されており、ESG課題等への取り組みを通じて企業価値向上が期待される新規銘柄への投資も検討しています。

当ファンドは、『社会問題を客観的に特定し、問題を解決する企業に投資する』という理念を基に選定された銘柄の中から、利益に対し割安な水準にある企業に投資を行っています。また、『長期投資を行い、経営者と一緒に企業価値を上げる努力をする』という考えから、投資先企業の経営者と建設的な「目的を持った対話」を通じて、配当政策や成長戦略等の企業価値の持続的向上に関する議論を積極的に行います。中長期的な企業価値の向上につながるようなアイデアの提供を含めた企業との対話や銘柄調査を積極的に行うことで、中長期的な信託財産の成長を目指します。

「ESG」とは、「E nvironment(環境)」、「S ocial(社会)」、「G overnance(企業統治)」の各課題の頭文字で表される言葉です。

企業が事業活動を行う上で、「ESG」の各課題について、きちんとした配慮や対応を行うことは、長期的には、企業の健全な発展や、成長の原動力になると考えられています。こうした企業のESG課題への取り組みを評価し、投資家が優れた経営を行う企業へ投資することは、社会的課題の解決を間接的に促し、持続可能な社会をつくる後押しになると考えられています。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、ファンドマネージャー等の見方あるいは考え方を記載したもので、当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

2/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

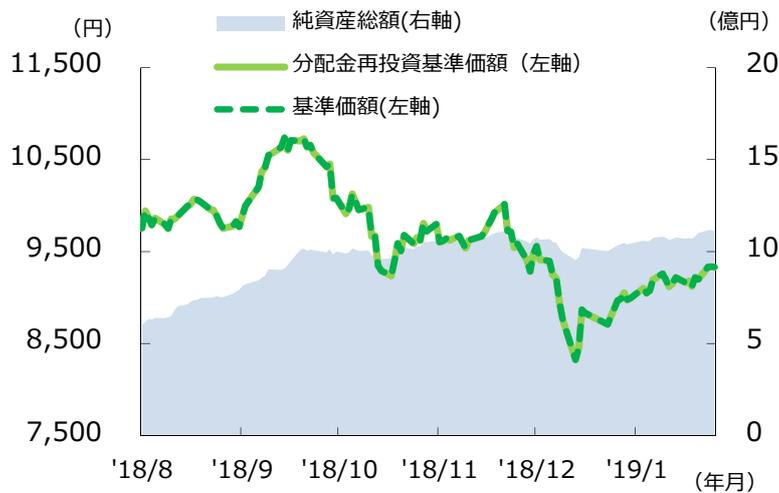
## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

<基準価額・純資産総額等の推移

2019年2月6日現在>

### ■ 基準価額等の推移

(設定日 (2018/8/10) ~2019/2/6)



### ■ 基準価額・純資産総額

基準価額	9,332円
純資産総額	11億円

### ■ 設定来の騰落率

設定来	-6.7%
-----	-------

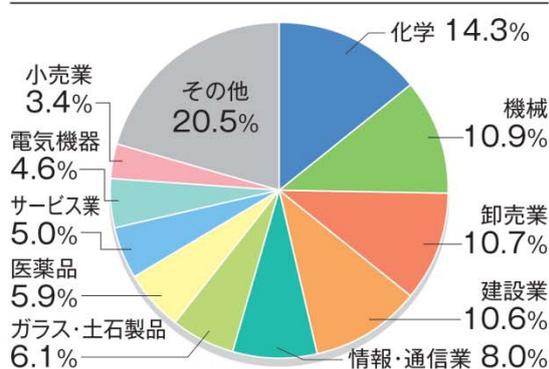
### ■ 分配金の推移

第1期('19/1)	0円
設定来	0円

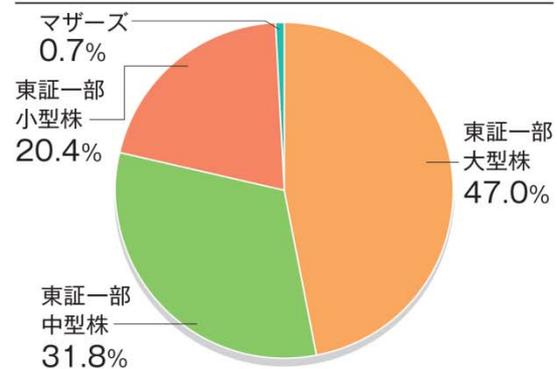
※基準価額は信託報酬控除後のものです。 ※分配金再投資基準価額およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示。 ※分配金は1万口あたりの金額 (税引前) ※分配対象額が少額な場合等には、分配を行わない場合があります。 ※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## <ポートフォリオの状況 (ESG日本株マザーファンド) 2018年12月末>

### 業種別構成



### 市場別・規模別構成比



※業種は東証33業種分類※規模は大型はTOPIX Core30およびLarge70、中型はTOPIX Mid400、小型はTOPIX Smallの構成銘柄で分類  
※比率は保有現物株の時価総額対比※比率の合計は100%にならない場合があります

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

3/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

### ご参考 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。

- この場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



(イメージ図)

(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(イメージ図)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。普通分配金: 個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。元本払戻金（特別分配金）: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

4/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

### <ファンドの目的>

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じてわが国の株式に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### <ファンドの特色>

# 1

主にわが国の株式の中から、ESG(環境／社会／企業統治)課題等への取り組みを通じて、企業価値向上が期待される企業に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指します。

- 当ファンドは、「ESG日本株マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
- マザーファンドはわが国の株式を主要投資対象とします。

ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字で表される言葉です。

# 2

銘柄選定は、主に企業との対話や綿密な企業調査を通じたボトムアップリサーチをもとに、バリュエーション等を勘案して行います。

# 3

毎年1月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。
- 収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

お客様にご負担いただいた運用管理費用(信託報酬)の一部を震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林の再生活動のために寄付します。

- 当ファンドの販売会社は、收受した運用管理費用(信託報酬)の一部(運用管理費用(信託報酬)率のうち年率0.1%程度)を寄付するものです。
- 寄付先は、公益社団法人宮城県緑化推進委員会とします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

5/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

### <投資リスク (くわしくは最新の投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください) >

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書 (交付目論見書)』の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 基準価額を変動させる要因として主に、株価変動に伴うリスク、流動性リスク、信用リスクがあります。ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

### <ファンドの費用 (くわしくは最新の投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください) >

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>1.08%(税抜1.0%)</b> を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。 ※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。
信託財産留保額	ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に <b>年率1.4904%(税抜1.38%)</b> を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 <運用管理費用(信託報酬)の配分>									
	<table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率0.70%(税抜)</td> <td>ファンドの運用等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.65%(税抜)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.03%(税抜)</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> </table>	委託会社	年率0.70%(税抜)	ファンドの運用等の対価	販売会社	年率0.65%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.03%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
委託会社	年率0.70%(税抜)	ファンドの運用等の対価								
販売会社	年率0.65%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価								
受託会社	年率0.03%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価								
その他の費用・ 手数料	財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料等は信託財産から支払われます。 ※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。									

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

6/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## <七十七> ESG日本株オープン (愛称:みやぎの絆)

### <お申込みメモ (くわしくは最新の投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください) >

- 信託期間 2018年8月10日～2023年1月17日 (約4年半)
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
- 決算日 毎年1月17日 (該当日が休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年1回の決算時に分配を行います。※分配金自動再投資型を選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

※当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

### <投資信託に関する留意点>

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。  
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

### <委託会社およびその他の関係法人>

#### ■委託会社 (ファンドの運用の指図を行う者)

大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第353号  
加入協会/一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

#### ■受託会社 (ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

三井住友信託銀行株式会社

#### ■販売会社

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		

(50音順)

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

7/7

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。